



問 白塚地区と栗真地区の下水道工事の着工予定は

下水道が未整備の地区の皆様から、早期着工に対する要望の声をよく聞くが、津市の下水道事業の主な処理区における現在までの整備状況と整備進捗率しんちよくが低い原因は。

また、白塚地区と栗真地区の下水道工事の着工予定はいつ頃か。

答 今後の下水道事業基本計画において示していく

令和3年度末の津市の下水道事業の主な処理区の整備進捗率は雲出川左岸処理区が83.5%、松阪処理区が88.7%、志登茂川処理区が38.6%である。津市全体の下水道処理人口普及率は53.1%となっており、志登茂川処理区の整備進捗率が低いのは、終末処理場である志登茂川浄化センターの完成が、大幅に遅れたことが要因と考えられる。

白塚地区と栗真地区は、令和9年度までの整備予定箇所には入っていない。令和10年度以降については、それまでの整備状況や社会情勢など、様々な要件を考慮し、選定する必要があることから、今後の下水道事業基本計画において示していく。

その他の質疑・質問

- 下水道について
 - 整備の優先度及びその進め方について
 - 費用の目安を提示することはできないのか
 - 下水道に接続しなければならない理由とは
- 獣害対策について
 - 被害の状況は
 - 現在の獣害対策と今後の取り組みは

▶ 白塚海岸に位置する志登茂川浄化センター



問 「学校給食の共同化」による成果と課題解決のための対応策は

調理を行う学校から受入校へ給食を運ぶ「学校給食の共同化」は、現在5グループの小学校で実施されている。

学校内の調理現場では、食の安全確保と増加傾向にある食物アレルギー対応の調整と作業に多忙を極めていると聞く。

この共同化の導入による成果と、課題解決のための対応策を問う。

答 調理体制を整えるなど、現場の協力を得て円滑な実施に努める

成果として、調理場の改修による、より衛生的な給食の提供、改修対象校を限定することによる財政の効率化、調理員の集約による業務の効率化および労働環境の向上などが挙げられる。課題の一つとして、調理の際、受入校までの配送時間を考慮し、先に受入校分の調理の仕上げを行うなど、自校調理方式と比べ、限られた時間内に円滑な調理業務を行う必要があることが挙げられ、この対応として、調理員を加配し調理体制を整えるとともに、現場の協力を得ながら円滑な実施に努めている。その他の課題にかかる各校からの相談にも随時対応している。

その他の質疑・質問

- 水泳指導業務委託事業に関して
 - 試行的に民間プールを活用した令和4年度の水泳授業の検証と課題について
 - 令和5年度実施予定の対象校について
- 学校・園における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理について
- 三重短期大学の将来的な構想について など

▶ 民間プールを活用した水泳授業の様子。一年を通じて水泳授業が可能となる

